

平成29年(ワ)第164号、平成30年(ワ)第55号 損害賠償請求事件

原告 林 修 外163名

被告 東京電力ホールディングス株式会社

準備書面 (1)

(富岡町の現況について)

平成30年12月18日

福島地方裁判所いわき支部合1係 御中

被告訴訟代理人 弁護士

同

同

同

同

同

同

同訴訟復代理人 弁護士

同

田 中 清

青 木 丈 介

小 谷 健 太 郎

川 見 唯 史

棚 村 友 博

田 中 秀 幸

青 木 翔 太 郎

三 森 健 司

堀 口 拓 也



富岡町の近時の状況は、以下のとおりである。

なお、富岡町については、平成29年4月1日に避難指示が解除されていることを付言する。

1 空間放射線量の推移

富岡町（富岡町役場¹）における空間線量率の測定結果は、以下のとおり推移している（乙B142）。なお、単位はマイクロシーベルト/時、測定高は100センチメートルである。

測定日	測定値
平成23年 9月30日	記録なし
平成24年 9月30日	記録なし
平成25年 9月30日	記録なし
平成26年 9月30日	0.814
平成27年 9月30日	0.616
平成28年 9月30日	0.504
平成29年 9月29日	0.193
平成30年 9月28日	0.179 (乙B142)

2 健康調査の結果

(1) 福島県が実施する県民健康調査では、ホールボディカウンターによる内部被ばく検査が実施されている。

富岡町については、平成30年10月までの累計で4330人（男性1880人、女性2450人）が検査を受けたが、預託実効線量が1ミリシーベルト以上の被検査者は1名にとどまり、かつ、全員について、預託実効線量

¹ 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622 番地の 1。現在は、富岡町役場ではなく富岡町文化交流センター学びの森に名称変更されている。乙142号証は「富岡町文化交流センター」の空間放射線量を示すものである。

は健康に影響が及ぶ数値ではなかったとの検査結果が出ている（乙B120「ホールボディカウンターによる内部被ばく検査の実施状況」（平成30年10月までの累計））。

(2) 同じく福島県が実施した県民健康調査による外部被ばく線量推計結果によれば、東日本大震災後4か月間（放射線の空間線量が最も高かった時期）の外部被ばくの積算線量は、調査対象となった富岡町民7056人について、1ミリシーベルト未満が5827人、1ミリシーベルト以上2ミリシーベルト未満が1102人となっており、約99.9パーセントの対象者が5ミリシーベルト未満である（乙B121「県民健康管理調査『基本調査』の実施状況について」①-8 別添資料4）。

疫学調査により100ミリシーベルト以下での明らかな健康への影響が確認されていないことから、4か月間の外部被ばく線量推計値ではあるが、「放射線による健康被害があるとは考えにくい」と評価されている（乙B121「県民健康管理調査『基本調査』の実施状況について」①-4）。

3 除染の状況

富岡町については、平成25年6月に環境省による特別地域内除染実施計画が定められた（平成25年12月に一部改定）。

そして、政府による除染作業は平成29年1月に完了した（乙B104「環境省除染情報サイトホームページ（富岡町）」）。

4 避難の状況

平成23年3月11日時点における富岡町の人口は1万5960人だった。

これに対して、平成30年12月1日現在の住民登録者数1万2240人（県内9640人、県外2600人）であり、同日時点の居住者数は826人とされている（乙B143「県内外の避難・居住先別人数」〔富岡町ホームページ〕）。

また、本件地震に係る子どもの避難者数の調査によれば、本件事故後の富岡町の18歳未満の県内及び県外への避難状況は、「東日本大震災に係る子どもの避難者数調べ」(乙B79の1、乙B122)記載のとおりである。これを見ると、富岡町における子どもの避難者数は、平成24年4月1日時点において2597人(県内避難者1629人、県外避難者968人)であったが、平成30年4月1日時点においては1842人(県内避難者1429人、県外避難者413人)となっている。

5 復興の状況

(1) 公的な施策

富岡町では、平成24年1月に富岡町災害復興ビジョンが策定され、同年9月には、これを基に富岡町災害復興計画(第一次)が策定されるなど、復興まちづくりに向けての施策が進められている。

さらに、平成27年6月には富岡町災害復興計画(第二次)が策定されている。

(2) その他(乙B144「富岡町の状況」(福島県ホームページ))

ア 公共交通機関については、JR常磐線の富岡駅～竜田駅間が平成29年10月21日に再開通し、富岡駅～浪江駅間をJRによる列車代行バスが運行中である(富岡駅～浪江駅間のJR常磐線については、平成31年度中に再開通予定である。)。また、路線バス急行「富岡線-いわき駅」が1日4往復で運行中のほか、「町内循環バス」も1日6循環している。

イ 商業施設としては、「さくらモールとみおか」のほか、「ヨークベニマル」、「ダイユーエイト」、「ツルハドラッグ」及び地元飲食店によるフードコートも営業中である。また、ATMも稼動しているし、コンビニ、金融機関、飲食店、ガソリンスタンドなどが営業を再開している。

ウ 教育関係施設としては、保育施設、幼稚園、小学校、中学校が再開済みである(なお、詳細については、乙B144号証「8. 教育」の欄に記載されたとおりである。)

エ 医療施設については、平成28年10月に町立とみおか診療所が開所し、平成29年4月には富岡中央医院が再開し、さらに、平成30年4月には県立ふたば医療センター附属病院が開院している。

以上